



せたがや区議会だより

No.254

平成28年(2016年)4月29日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html

平成28年度一般会計予算を修正可決 第1回 区長の議会軽視の言動を改めることを求める決議などを可決 定例会

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会では、区長から28年度予算案5件を含む42件、議員から2件の案件が提出されました。また、28年度予算案を審査するために予算特別委員会を設置しました。提出された議案のうち、28年度一般会計予算を修正可決、そのほかの議案については原案どおり可決しました。

●28年度各会計予算 5件

○一般会計(修正案)

賛成 自民、公明、F行革、希望、SPJ、世田合
賛成多数
反対 民進社、共産、無減連、生、虹

○一般会計(修正部分を除く原案)

賛成 自民、公明、民進社、共産、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 F行革

○国民健康保険事業会計

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産



予算特別委員会での28年度一般会計予算(修正案)に対する採決の様子

28年度一般会計予算を一部修正した上で可決しました

今定例会に区長から提出された28年度一般会計予算案に対し、議員から総務費1008万2千円を減額し、同額を諸支出金に加算する修正案が提出されました。予算特別委員会において原案、修正案をそれぞれ審査し、採決の結果、賛成多数で修正案を可決し、修正部分を除く原案についても、賛成多数で可決しました。本会議においても、委員会の審査結果のとおり、28年度一般会計予算を賛成多数で修正可決しました。

【修正案の概要】

総務費に計上された本庁舎整備に係る既存建物の劣化調査及び耐震性能調査のための経費1008万2千円は、建物を一部保存とした場合に必要の調査費用であり、整備手法が決まっていない現時点において、執行されない恐れのある費用を計上することは財源の効率的、効果的配分とは言えず、不要であるため、当該経費1008万2千円を減額し、減額分を基金に積み立てる。

	〈修正前〉		〈修正後〉
総 務 費	280億3911万4千円	➡	280億2903万2千円
諸支出金	6053万4千円	➡	7061万6千円

○後期高齢者医療会計

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○介護保険事業会計

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○中学校給食費会計

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○国民健康保険事業会計(第二次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○後期高齢者医療会計(第二次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○介護保険事業会計(第二次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○補正後の予算額は次のとおり。

一般会計 二八〇億二九〇三万二四四千円

○国保会計

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○条例の新設

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○条例の改正

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○組織条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○空家等対策推進条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○空家等対策推進条例(第二次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○空家等対策推進条例(第三次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○空家等対策推進条例(第四次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○空家等対策推進条例(第五次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○空家等対策推進条例(第六次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○出張所設置条例

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○出張所におけるまちづくり機能を明確に区分するため出張所にまちづくりセンターを設置する。

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○教育委員会委員の報酬・費用弁償条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○選挙管理委員の報酬・費用弁償条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○監査委員の給与条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○農業委員会委員の報酬・費用弁償条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○男女共同参画センター条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○男女共同参画センター条例(第二次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○男女共同参画センター条例(第三次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○男女共同参画センター条例(第四次)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○公園条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○赤堤二丁目みなの公園

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○上 用 賀 公 園

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○瀬田四丁目くぬぎ公園

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○瀬田四丁目東公園

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○喜多見農業公園

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○位置づけの変更

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○新名称(現名称)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○赤松ぼっくり庭園緑地

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○赤堤二丁目緑地広場

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○瀬田四丁目旧小坂緑地

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○瀬田四丁目広場

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○身近な広場条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○使用料及び占用料を改定するとともに、代田富士356広場(代田3-56-18)を新設する。

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○空家等対策審査会条例(全員賛成)

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○空家等対策推進条例の制定に伴い審査会の所掌事項を追加する。

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○会派名

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○自民 自由民主党世田谷区議団

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○公明 公明党世田谷区議団

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○民主 民主主義世田谷区議団

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○民進 民進党世田谷区議団

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○共産 日本共産党世田谷区議団

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○希望 希望の会

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○F行革 F行革

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○無減連 無減連

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○生 生

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○虹 虹

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○SPJ SPJ

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○世田合 世田合

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○無所属 無所属

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

○公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

賛成 自民、公明、民進社、F行革、希望、無減連、生、虹、SPJ、世田合
賛成多数
反対 共産

代 表 質 問

2月24日及び25日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団
山口 ひろひさ 議員



補助54号線整備への誤った判断

質問 区長が独断で補助54号線2期3期区間を優先整備路線から外す方針を決めたことは極めて不誠実だ。1期区間に尽力するためと言うならば、具体策を明確に示せ。

副区長 組織改正で道路事業推進業務を統合し職員体制を強化する。

補助54号線に係る区長判断の影響
質問 補助54号線整備に係る区長の誤った判断により、都との信頼関係悪化は必至だ。2020年東京五輪に関する多くの施策で連携強化が必要となる中、どう対応するのか。

副区長 都との関係に問題が生じないよう、適切に対応していく。

本庁舎の全部改築の早急な決断

質問 本庁舎整備で区長の自己満足とも言える景観の継承を検討することは、時間と経費の無駄遣いだ。全部改築を即断し、19年度の整備案も生かして検討を進めよ。

区長 検討委員会などでの十分な議論を踏まえ基本構想をまとめる。将来像が不明確な28年度予算案

質問 区長は社会的包摂を進めるという28年度予算案を示したが、評論家のような表現で将来像が不明確だ。まちの根幹となる道路整備を着実に進める気はあるのか。

区長 都市基盤整備にも重点的に予算を配分して取り組みを進める。真に必要な行政改革の断行

質問 安定した財政基盤の確立には不断の行政経営改革が不可欠だ。生産年齢人口の減少に伴う厳しい財政見通しを踏まえ、痛みを伴う改革に耐え得る土壌を醸成せよ。

副区長 改革のあり方を柔軟に変えていく必要があると考えている。

総合戦略での産業活性化の推進

質問 総合戦略案には区が発展を遂げるために不可欠な産業活性化の内容が不十分だ。2020年東京五輪を通じてにぎわい創出などに係る具体的な取り組みを着実に進めよ。

産業政策部長 旅行客へのおもてなしなどまちなか観光を推進する。

2020年東京五輪開催以降の施策展開

質問 2020年東京五輪を単なるイベントとして終わらせてはならない。スポーツ振興などの取り組みを大会の遺産として後世に引き継げるよう、戦略的な施策展開を図れ。

副区長 都などとの連携を強化し、レガシーの創出に全力で取り組む。

危機管理専門担当職の配置
質問 2020年東京五輪を見据え、危機管理体制を強化すべきだ。テロなどの有事への対応に精通した自衛官などの専門職を区長直轄の危機管理専門担当職として配置せよ。

区長 体制強化に向け、管理職への専門職配置などを検討する。

区内農地の保全策の積極的な展開
質問 国は都市農業振興基本計画素案の中で、都市農地に係る税負担の軽減に向けた検討を行うとした。国の動きに合わせ、区内農地の保全策を積極的に展開せよ。

産業政策部長 国が示す方策と整合を図り農地の保全に取り組む。

新BOPの十分な活動場所の確保
質問 新BOPの利用者数は急増しており、飽和状態に達している学校もあると聞く。子どもが放課後に安心して過ごせるよう、活動場所の確保にしっかりと取り組め。

教育政策部長 学校と協力しながら施設の有効活用を図っていく。

世田谷版ネウボラの体制の構築
質問 区は妊娠期から切れ目なく支援する世田谷版ネウボラに取り組むが、拙速な事業展開では区民の混乱を招くだけだ。十分に検証し、適切な支援体制を構築せよ。

副区長 推進協議会を設け、意見を聞きながら体制構築を進める。

2020年東京五輪を通じた教育の充実
質問 区は全区立校の2020年東京五輪に係る教育推進校への指定に向け取り組んでいる。区内での競技実施や米国選手団の事前キャンプなどの機会を教育に十分生かせ。

教育政策部長 区の独自性を生かした取り組みの可能性を検討する。

公明党世田谷区議団
岡本 のぶ子 議員



補助54号線整備に係る区長の迷走

質問 我々は補助54号線の整備推進の必要性を再三訴えたが、区長は2期3期区間を優先整備路線から外す方針を決定した。極めて遺憾であり、理由を明確に示せ。

区長 1期区間の整備に集中するという考えで一旦外すこととする。

全面改築を前提とした本庁舎整備
質問 過去の調査で本庁舎整備は全面改築が経済的との結論が出ている。基本構想検討委員会では全面改築を前提に、手法や工期、機能などの比較検討に時間を費やせ。

区長 一部改築が全面改築かなどについても議論のテーマとしたい。

スポーツ施設の整備拡充

質問 2020年東京五輪開催決定を機に、区民のスポーツ意欲は高まっている。誰もがスポーツを楽しめ、国際交流の拠点ともなる施設を仮称上用賀公園拡張用地に整備せよ。

スポーツ推進部長 どのようなスポーツ施設とするかを早急に検討する。

戦略的な自治体間連携の取り組み
質問 区と縁組協定を結んでいる川場村は、豊かな自然を生かして林業にも重点的に取り組むとしている。区は経済的連携を検討し、川場産木材を区施設で活用せよ。

総合戦略参事 財源確保の課題もあるが、利用の可能性を探る。

民間と協働運営の観光協会設立
質問 観光事業を効果的に進めるには柔軟な発想で迅速に行動を起こせる組織が必要だ。民間事業者と協働運営型の観光協会を産業振興公社から独立した形で設立せよ。

副区長 まずは、観光事業の執行体制の抜本的な強化に取り組む。

人事交流での危機管理体制の強化
質問 テロ事件や大規模災害を想定した取り組みは重要だ。2020年東京五輪開催も見据え、警察や消防特に自衛隊などとの人事交流を活発化し、危機管理体制を強化せよ。

区長 効果的な人員配置、連絡体制の充実により体制強化を図る。
「食品ロス」削減の取り組み



質問 食べられるのに廃棄される食品である「食品ロス」の削減が急務だ。商店街と連携し、対面販売の際に食品の調理や保存の方法を助言してもらうなど、工夫せよ。

副区長 認証保育所の新規公募や区独自の支援策の強化に取り組む。

妊娠期からの切れ目のない支援
質問 虐待予防の観点から妊娠期からの切れ目のない支援は重要だ。子育て世代包括支援センターをあんしんすこやかセンターに併設し、全ての妊婦に面接相談を行え。

保健所長 区民が利用しやすい相談支援体制となるよう検討する。

子ども食堂の利用者への配慮
質問 NPOなどが行う子ども食堂について、貧困対策の取り組みの面を強調する報道が目立っている。誰もが気兼ねなく利用できるよう十分配慮し、支援を強化せよ。

区長 多様な人が参加できるように、ネットワークづくりなどに努める。

障害者差別解消法の実効性の担保
質問 4月に施行される障害者差別解消法の実効性の担保に向けた取り組みが必要だ。差別を行った事業者には是正勧告を出せるなどの権限を盛り込んだ条例を制定せよ。

副区長 先行自治体の動向なども踏まえ、検討していきたい。

寄附の促進に向けた取り組み
質問 歳入増に向け、工夫すべきだ。クラウドファンディングの導入やふるさと納税制度の活用促進に向けた広報の充実など、区への寄附の促進につながる施策を行え。

総務部長 広報誌などによるPRを強化するなど、工夫していく。

新たな介護予防事業の円滑な実施
質問 4月から新たな介護予防・日常生活支援総合事業が始まるが、サービス単価の低さなどから参入事業者の不足が懸念される。区は事業者の動向を把握しているのか。

高齢福祉部長 意向確認を進めサービスに支障が出ないように努める。

区民参加と協働によるまちづくり
質問 区民参加と協働によるまちづくりを一層推進すべきだ。計画作成過程の早い段階から区民がより参加できる体制を強化せよ。

副区長 区民主体のまちづくりの実現に向け、一層取り組んでいく。

せたがや子育て利用券の周知
質問 区は妊娠期からの切れ目ない支援に向け、産前産後サービスを利用できる子育て利用券を発行する。広報を工夫し、利用を促せ。

保健所長 さまざまな手法により、妊婦への周知を図っていく。



「中高生のビブリオバトル」の様子

世田谷民衆党 社民党区議団
中塚 さちよ 議員



子ども食堂の利用者への配慮

質問 NPOなどが行う子ども食堂について、貧困対策の取り組みの面を強調する報道が目立っている。誰もが気兼ねなく利用できるよう十分配慮し、支援を強化せよ。

区長 多様な人が参加できるように、ネットワークづくりなどに努める。

障害者差別解消法の実効性の担保
質問 4月に施行される障害者差別解消法の実効性の担保に向けた取り組みが必要だ。差別を行った事業者には是正勧告を出せるなどの権限を盛り込んだ条例を制定せよ。

副区長 先行自治体の動向なども踏まえ、検討していきたい。

寄附の促進に向けた取り組み
質問 歳入増に向け、工夫すべきだ。クラウドファンディングの導入やふるさと納税制度の活用促進に向けた広報の充実など、区への寄附の促進につながる施策を行え。

総務部長 広報誌などによるPRを強化するなど、工夫していく。

新たな介護予防事業の円滑な実施
質問 4月から新たな介護予防・日常生活支援総合事業が始まるが、サービス単価の低さなどから参入事業者の不足が懸念される。区は事業者の動向を把握しているのか。

高齢福祉部長 意向確認を進めサービスに支障が出ないように努める。

区民参加と協働によるまちづくり
質問 区民参加と協働によるまちづくりを一層推進すべきだ。計画作成過程の早い段階から区民がより参加できる体制を強化せよ。

副区長 区民主体のまちづくりの実現に向け、一層取り組んでいく。

せたがや子育て利用券の周知
質問 区は妊娠期からの切れ目ない支援に向け、産前産後サービスを利用できる子育て利用券を発行する。広報を工夫し、利用を促せ。

保健所長 さまざまな手法により、妊婦への周知を図っていく。

日本共産党世田谷区議団
中里 光夫 議員



区民のくらし応援の区政を

質問 消費税の増税や実質賃金の4年連続の低下などにより、区民の生活は大変厳しく、消費は落ち込んでいる。区民のくらしを応援し、消費をふやす政策を進めよ。

区長 区民に最も身近な行政として行うべき支援策を検討する。

まちづくりセンターの機能強化
質問 区は出張所の窓口機能とまちづくり機能の分離に取り組んでおり、今後まちづくりセンターの機能分離による窓口業務縮小も危惧される。地区の機能は強化せよ。

地域行政部長 地区の窓口を含めた身近なサービスの充実を図る。

住民参加のまちづくりを
質問 街づくり条例の改悪により、住民参加のまちづくりは後退した。区長はまちづくりにおける住民参加をどうリードするか展望を示せ。

区長 参加と協働を推進し、一層の区民参画の推進を働きかけたい。

廃止に向け道路計画の課題検証を
質問 都市計画道路整備における第4次事業化計画案での都の課題の検証は不十分だ。不要な路線の廃止に向け、区が各路線の必要性や整備に際しての課題を検証せよ。

副区長 都や近隣自治体と総合的に検証する必要があると考える。

地域密着型介護サービスの拡充
質問 地域密着型サービスの拡充に向けた区の積極的な姿勢を評価する。サービスの質を確保しつつ、施設整備目標を確実に達成せよ。

高齢福祉部長 公有地の利用などにより、着実な整備に努める。

区内産業としての建設業への支援
質問 建設業は多くの業種とかわりがあるため、地域経済に与える影響が大きい。区は主要な産業の一つとして位置づけ、特に中小建設事業者への支援を強化せよ。

副区長 事業者の実態把握に努め、支援のあり方の検討を進めていく。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継で検索！

無所属・世田谷区第10区 維新
大庭 正明 議員



保育園整備に係る無責任な姿勢

質問 保育園整備への反対の声を評論家気取りでツイッターで発信する区長の神経は理解不能だ。整備推進に向け住民と真摯に向き合うことが区長の責務ではないのか。

区長 保育園は必要な施設であるということと粘り強く説明する。

役所目線の制度設計の見直し

質問 区は地域包括ケアシステムを全区に展開予定だが、相談窓口となるまちづくりセンターの場所すら知らない区民が多い。区民不在で役所目線の制度設計を見直せ。

地域行政部長 来所しやすくするためのさまざまな工夫をしたい。

区民にわかりやすい施設の表示

質問 あんしんすこやかセンターは区が定めた通称であり、国が位置づける地域包括支援センターと同一であることがわかりにくい。周知の際は両方の名称を併記せよ。

高齢福祉部長 施設表示などへの併記も含め、表記方法を工夫する。

本庁舎整備に係る区長の説明責任

質問 庁舎問題が難航する中、シンポジウムで学生の整備案への人気投票を黙認した区長の姿勢は問題だ。なぜ庁舎保存案は困難だと責任を持って説明しなかったのか。

区長 庁舎の件について、私に対しては何も問いかけがなかった。本庁舎整備に係る区長の認識

質問 本庁舎整備に当たり、現庁舎の一部または全部を保存することは現実的には不可能だ。区長はそのことを認識しているのか。

区長 区の報告書にある事柄について、私の認識となっている。

庁舎問題を迷走させる区長の態度

質問 区長は庁舎整備に係る議論を深めるとしながら、保存案への世論誘導ともとれる態度をとった。どこまで問題を迷走させているのか。

区長 世論を誘導しているという疑義は当たらないと考えている。

一般質問

2月25日及び26日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

そのべ せいや 議員
(F行軍)



組み体操によるけがの発生状況

質問 全国の学校で組み体操による子どもへのけがが相次いでおり、区として早急に安全対策に取り組むべきだ。27年度における区立小でのけがの発生状況を示せ。

答弁 64校中59校で実施し、けがによる給付請求は24件である。

区立校での事故防止策の強化

質問 区立校における子どもの事故の防止策を強化すべきだ。区で集約する事故報告などをしっかりと分析して危険性が高い状況などを予測し、未然防止に生かせ。

答弁 事故の未然防止や安全管理の意識を高めるよう取り組む。

若者の政治参加意識の醸成

質問 選挙権年齢の18歳への引き下げを機に、若年層の政治参加意識の醸成に一層取り組むべきだ。投票で物事が決まることを体感できる機会を積極的に創出せよ。

答弁 関係機関と連携し、選挙に関する体験授業を一層充実したい。

桃野 よしふみ 議員
(F行軍)



給付型奨学金制度の効果への疑義

質問 区が児童養護施設退所者などに向け創設する給付型奨学金制度は真の自立につながるか疑問だ。就労継続を条件に返還免除とする「頑張れば報われる」制度とせよ。

答弁 施設などと調整しながら支援し、自立につなげていきたい。

児童養護施設退所者支援のあり方

質問 区が始める児童養護施設退所者などの支援事業は都が始める事業と類似しており、事業の意義は薄い。区は都の事業の対象外となる子どもの支援にこそ注力せよ。

答弁 区の支援事業を効果的かつ安定的に運営するよう努める。

寄附頼みの奨学金制度の見直し

質問 区が実施予定の給付型奨学金制度は原資の一部を寄附金頼みとする不安定な制度だ。実施するのであればせめて安定的に事業を継続できるような制度設計を見直せ。

答弁 事業の周知を図りながら、持続可能な運営に留意していく。

あべ 力也 議員
(無減連)



インバウンドへの対応を強化せよ

質問 訪日外国人が急増する中、区に多くの外国人が訪れるよう一層工夫すべきだ。観光情報の動画配信や区内全域へのWiFi環境の整備などに早急に取り組め。

答弁 国際都市世田谷となるよう、庁内を挙げて取り組んでいく。

非常勤職員の処遇改善に取り組め

質問 同一価値労働同一賃金の観点から区の非常勤職員の処遇を改善し、正規職員との格差解消を図るべきだ。昇給制度の導入や期末手当の支給などに取り組め。

答弁 非常勤職員が一層活躍できるように、労働環境の整備を進める。

区立小の相次ぐ不祥事の責任は？

質問 区立小において、児童の暴力に係る問題や通知表の誤記入などの不祥事が相次いで発生したと聞く。これらの問題に係る責任の所在について教育長の見解を示せ。

答弁 これらの責任は、最終的には教育長にあると考える。

佐藤 美樹 議員
(希望)



地域包括ケアシステムの体制強化

質問 地域包括ケアシステムの全區展開では、育児や介護などの多面的な支援に縦割りを排して取り組むことが重要だ。既存の枠組みを超えた柔軟な発想で取り組め。

答弁 支所による地区の支援の中で創造性や柔軟性が必要と考える。

保育園の入園選考基準の見直し

質問 認可保育園の入園選考では、育児と介護を同時に担うダブルケアを抱えるケースなどの介護に係る負担にきめ細かく配慮すべきだ。選考基準への反映を検討せよ。

答弁 区民の声も踏まえ、選考基準のあり方を慎重に検討していく。

複合施設整備に係る窓口の一本化

質問 旧希望丘中跡地の施設整備においては関係部署が多岐にわたったため、区民意見などの情報が一元化されにくかった。今後、区としての窓口を支所に一本化せよ。

答弁 今後は砧支所が窓口となり、庁内での情報の共有化を図る。

上川 あや 議員
(虹)



家族向けの介護教室を開催せよ

質問 介護のコツを学ぶ場もないままに日々、重い介護負担を強いられている家族も数多い。23区中18区は区主催で家族向け介護教室を開催している。当区でも開催を。

答弁 介護力向上に向けた講座などについて検討し、支援を行う。

五輪ではホストタウンを目指せ

質問 区は2020年東京五輪でアメリカ選手団の事前キャンプ地となるが、国事業に基づくホストタウンではない。事業に応募し正式なホストタウンとして交流促進を図れ。

答弁 申請に向けた準備が整い次第、速やかに手続を行っていく。

性的マイノリティー職員への配慮

質問 区職員の互助会では同性をパートナーとする職員にも結婚祝い金と同額の祝い金を給付する予定だが、教職員の互助会でも実施すべきだ。取り組み状況を示せ。

答弁 同様の規約改正に向け、評議員会などで事務を進めている。

羽田 圭二 議員
(民主社)



参加と協働による区政運営の推進

質問 都市計画道路の優先整備路線の扱いは、より多くの区民意見を踏まえて判断すべきだ。一層の区民参加の手法を確立し、参加と

協働による区政運営を実践せよ。

答弁 補助54号線の整備では区民参加の場を設けて丁寧に取り組む。

ひとり親家庭への心のケアの充実

質問 ひとり親家庭が抱える問題を社会全体の問題と捉え、支援を充実すべきだ。単なる経済的支援にとどまらず、親子の心のケアなどにもしっかりと取り組め。

答弁 心のケアを含め、社会全体で支える仕組みづくりに取り組む。

ひとり親家庭への支援の強化

質問 区はひとり親家庭を対象に高等学校卒業程度認定試験合格支援事業を行う予定だが、当該資格の取得は容易ではない。学習の場の確保や人的支援などに取り組め。

答弁 事業開始後に状況を確認し、必要な場合は改善策を検討する。

桜井 稔 議員
(共産)



地区レベルの施設見直しの狙い

質問 地域包括ケアの地区展開を進めるには、地域団体などによる公共的サービスを提供する施設の確保も必要だ。区が示した地区レベルの施設見直し案の狙いは何か。

答弁 施設運営への住民関与を深め効率的な活用を図ることである。

区民合意が大前提の本庁舎整備

質問 本庁舎整備に当たっては、区民の理解と合意を得ることが大前提だ。区は検討過程における情報公開を徹底し、区民意見を集約する機会をしっかりと確保せよ。

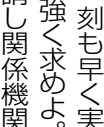
答弁 検討素材なども公開し、区民意見を集約する機会も設けたい。

三軒茶屋駅のエレベーターの増設

質問 三軒茶屋駅南側のエレベーター設置に向け、区が28年度予算案に整備に係る助成金を計上したことを評価する。一刻も早く実現するよう東急電鉄に強く求めよ。

答弁 早期整備を要請し関係機関と連携して整備促進にも取り組む。

真鍋 よしゆき 議員
(自民)



補助54号線への結論ありきの対応

質問 区長は議会と真摯に議論せずに補助54号線2期3区間を優先整備路線から外す方針を決めた。区内産業団体の要望も無視し、結論ありきだったのではないか。

答弁 議会や産業団体の意見も踏まえ、熟考した上で判断した。

補助54号線の扱い見直しの悪影響

質問 補助54号線2期3区間が優先整備路線から外されることで、整備に協力した区民の落胆は大きく、職員の気勢もそがれてしまわないか心配だ。区の見解を示せ。

答弁 下北沢の道路事業推進担当を明確に分担し、一丸で取り組む。

上用賀4丁目官舎跡地の早期活用

質問 2020年東京五輪の開催に合わせ、上用賀4丁目の財務省用賀住宅跡地にスポーツの場を整備すべきだ。あらゆる手段を講じ、五輪開催に間に合うよう尽力せよ。

答弁 建物解体工事の施工年度を一層早める工夫を検討する。

ゆさ 吉宏 議員
(自民)



歳入増に向けた積極的な取り組み

質問 持続可能な区政運営には、財政基盤の強化が不可欠だ。観光税の導入や税外収入の確保策の強化など、区は歳入の増加に向けた取り組みを積極的に進めよ。

答弁 攻めの視点を持った新たな歳入確保策を検討していく。

道路整備に係る新たな財源の確保

質問 第4次事業化計画などの道路整備を実現するには、道路予算の充実が不可欠だ。歳入増に向けた取り組みを強化して財源を確保し、道路整備を着実に推進せよ。

答弁 財源の拡充も検討し道路ネットワークの早期整備に尽力する。

二子玉川のまちづくりの推進

質問 二子玉川でのエリアマネジメントの取り組みでは、収益事業による持続可能なまちづくりが期待できる。行政コストの削減にもつながるため、支援を強化せよ。

答弁 区としてはアドバイザーとしてしっかりと取り組んでいく。

山内 彰議員
(自 民)



総合的な防災訓練の充実

質問 阪神淡路大震災や東日本大震災の記憶が薄れつつある中、自然災害に備える取り組みを強化すべきだ。区民の防災意識向上に向け、総合的な防災訓練を充実せよ。

答弁 合同水防訓練の充実も視野に総合的な防災訓練の充実を図る。

女性の視点での防災対策の充実

質問 区内で活躍する多くの消防団員の力を積極的に活用し、災害対策を充実すべきだ。特に女性の団員に協力を求め、災害対策に女性の視点をしっかりと盛り込め。

答弁 女性団員に参加してもらい、地域防災計画の修正を進めている。

消防団との連携体制の強化

質問 地域防災力の向上には、地域に根差した幅広い活動を展開する消防団の協力が不可欠だ。消防団とのさらなる情報の共有化を図るため、連携体制を強化せよ。

答弁 区内27地区で行う防災塾に積極的に参加してもらっている。

高久 則 男議員
(公 明)



補助54号線の早急な整備

質問 区長が補助54号線2期3期区間を優先整備路線から外す方針を決めたことは誠に遺憾だ。災害時に住民の命を守る避難路となる重要な路線であり早急に整備せよ。

答弁 補助54号線の整備が果たす防災上の役割は認識している。

文化拠点となる音楽ホールの整備

質問 文化都市世田谷の推進に向け、文化活動の場を拡充すべきだ。区民が一流の音楽に触れることができ、音楽を通じた国際交流拠点ともなる音楽ホールを整備せよ。

答弁 区民の文化活動を支える場の確保は重要だと認識している。

区施設における木材利用の推進

質問 環境共生都市を目指す区として、地球温暖化防止につながる木材の利用を積極的に進めるべき

中村 公太朗議員
(民主社)



給付型奨学金制度の安定的運用

質問 原資の一部を寄附で賄う給付型奨学金制度の安定的運用に向け、寄附文化の醸成を図るべきだ。寄附分を上乗せした区内共通商品券を発行するなど、工夫せよ。

答弁 関係機関と連携した積極的な手法について具体的に検討する。

地方創生推進交付金活用への懸念

質問 国は100億円もの地方創生推進交付金を計上したが、財政悪化により交付金の白紙撤回も懸念される。区民に負担を強いることがないよう堅実な財政運営に努めよ。

答弁 国の動向を注視し、積極的に交付金を活用していきたい。

教員が子どもと接する時間の拡充

質問 区は教員の事務の効率化に向けたシステム開発を行う予定だ。効率化の成果が教員の子どものかわる時間の確保に確実に結びつくよう、しっかりと取り組め。

答弁 教員一人ひとりが子どもとしっかりと向き合えるよう取り組む。

福田 妙 美議員
(公 明)



多摩川河川敷での安全対策の強化

質問 再開発に伴い二子玉川の魅力が高まっており、多摩川河川敷への来訪者の増加も予想される。水難事故防止の観点から、特に子どもへの安全対策に全力を注げ。

答弁 地域などと連携し、さらなる子どもへの安全確保に努める。

避難行動要支援者への支援の強化

質問 法改正に伴い、避難行動要支援者に係る名簿は災害時などに避難支援者に提供可能となった。名簿をもとに個別の支援計画の作成を進め、支援の実効性を高めよ。

答弁 計画を作成する際の課題について具体的な対応策を検討する。

戦略的な防犯対策の推進

質問 子どもへの犯罪がふえており対策が急務だ。地域や警察との連携を強化して犯罪の発生確率が高い時間帯や場所に効果的な対策を講じるなど、戦略的に取り組め。

答弁 警察との連絡会を活用し戦略的な取り組みの実施を検討する。

高橋 昭彦議員
(公 明)



認知症高齢者の見守り体制の強化

質問 認知症高齢者を徘徊による命の危険から守ることは重要だ。区民や警察などと連携し、高齢者安心コールなどを活用した認知症高齢者を見守る仕組みを構築せよ。

答弁 高齢者安心コールのさらなる活用を検討し、支援に取り組む。

若者の「婚活」支援の取り組み

質問 未婚化や晩婚化が進んでおり、少子化に拍車がかかることが懸念される。若者の「婚活」の支援として、区の施設を活用して出合いの場づくりに取り組め。

答弁 区としてどのような支援が可能なのか検討を進めていく。

千歳台交差点への横断歩道の整備

質問 千歳台交差点への横断歩道の整備が急務だ。29年度の都立蘆花恒春園への認可保育園開設を見据え、通園時の安全確保の観点から、都などに整備を強く求めよ。

答弁 千歳台交差点のバリアフリー化を都と警察に働きかける。

青空 こうじ議員
(無 連 連)



消防団への加入促進策の強化

質問 地域の防災活動の担い手である消防団員が不足する中、働く人が消防団活動に参加しやすい環境を整備して加入促進につなげるべきだ。雇用者の理解や協力を促すため、消防団員を積極的に雇用する事業者に対する事業税の減税制度の創設などを都に提案せよ。

答弁 消防団運営委員会での消防団協力事業所への減税制度の実施に係る議論の結果を都に報告する。

若い世代の消防団への加入促進

質問 選挙権年齢の18歳への引き下げなどを踏まえ、若い世代の社会参加機会の確保が一層求められる中、消防団に加入することは、地域活動などへ参加する絶好の機会となる。区内大学との連携を進めている区として、大学生の加入促進に向けて積極的に取り組め。

答弁 消防と連携し、学生の入団促進を含め、消防団活動の充実に向けて具体的に取り組んでいく。

おぎの けんじ議員
(自 民)



対症療法ではない若者支援の推進

質問 区が若者支援として取り組む一連の政策は、生きづらさを抱えた若者の一時的な抱え込みにすぎない。ひきこもりなどの予防策や自立を促す政策にこそ力を注げ。

答弁 予防的取り組みとして効果的なものになるよう検討を進める。

来年度重点政策の徹底的な精査

質問 来年度の予算名に付された「社会的包摂」の傘の下、乱立された戦略なき施策は、コストの膨張と財政硬直化を招く。行政が担うべきを含め徹底的に精査せよ。

答弁 持続可能な財政運営に向け、新たな行革手法の展開に取り組む。

本庁舎整備検討に見る区長の資質

質問 景観や中庭の継承に執着しながら、その重要性を論理的に示せない区長には本庁舎整備を正面から議論する能力はない。限られた時間内に整備方針は示せるのか。

答弁 検討委員会の議論を踏まえ、8月には区の考え方をまとめる。

たかじょう 訓子議員
(共 産)



子どもの貧困に係る実態の把握

質問 日本の子どもの貧困率は過去最悪となっている。個々の実情に応じたきめ細かい支援を行うため、区内の実態把握に向けた調査を行い、貧困対策を着実に進めよ。

答弁 どのような調査ができるかについて、検討していく。

烏山ブレイパーク事業の必要性

質問 補助219号線の整備計画は烏山ブレイパークの敷地を横断する内容だ。整備が進めばブレイパーク事業の縮小につながるが、事業の必要性をどう認識しているのか。

答弁 ブレイパークの必要性や果たす役割は大きいと認識している。

補助219号線の整備計画の見直し

質問 烏山ブレイパークの敷地を横断する補助219号線の整備計画に反対だ。地域の子どもが遊べる場をしっかりと確保するため、優先整備路線から外すよう都に求めよ。

答弁 区民生活を支える骨格的な道路であり重要だと認識している。

江口 じゅん子議員
(共 産)



二子玉川の風害の早急な解決を

質問 二子玉川再開発に伴うビル風被害は深刻だ。地域住民からは交通広場等への風対策の要望が聞かれている。誰もが安全に交通できるよう、さらなる風対策を行え。

答弁 対策の方向性がまとまり次第報告会などを開き丁寧に進める。

二子玉川地区への公共施設整備

質問 都立玉川高校跡地を活用して地域からの要望が多い図書館や集会施設、保育園、特養ホームなどの地域に不足している施設の積極的な整備を都に働きかけよ。

答弁 地元の意見なども踏まえ、活用の方角性を都に要望したい。

介護職の実態調査を行え

質問 介護現場の厳しい労働環境が問題となる中、介護の量と質の確保策が必要だ。区内事業所で働く介護職員の勤務実態に係る調査を行い、処遇改善につなげよ。

答弁 事業所に行う調査が実態を捉えるものとなるよう工夫する。

阿久津 皇議員
(希 望)



町会自治会への支援の充実

質問 地域活動の核となる町会自治会の加入率低下は、地域力の低下につながる。組織体制の強化に

向け、加入促進を図るとともに、法人化への支援などを充実せよ。

答弁 地域課題に向き合う区民が多くなるよう、活性化に取り組む。

子育て利用券による地域の活性化

質問 区は妊婦に対して地域の子育て支援サービスを利用できる券を発行予定だ。子育て産業の活性化や地域と子育て家庭とのかわりの創出につながるよう取り組め。

答弁 地域の活動団体に利用券事業への積極的な参加を呼びかける。

児童養護施設退所者の就労支援

質問 児童養護施設退所者などは親などに身元保証を頼めず就職が難しい場合がある。経済団体を通じて採用時の柔軟な対応を求めるなど、具体的な支援策を講じよ。

答弁 経済団体などに協力を求め、効果的な手法を検討していく。

安部 ひろゆき議員
(自 民)



胃内視鏡検査の実施体制の整備

質問 国のがん検診に係る指針の改定を受け、区は胃がん検診に胃内視鏡検査を導入する方針を決定した。多くの需要が見込まれるため、しっかりと体制を整備せよ。

答弁 地区医師会や保健センターと協議し、体制整備を進めていく。

認知症高齢者への口腔ケア健診

質問 口腔ケアは認知機能の低下を防ぐ上で重要だ。10月から始まる認知症高齢者などへの口腔ケア健診の受診促進に向け、ケアマネジャーなどと連携して周知せよ。

答弁 ケアマネジャーに対し口腔ケア健診に関する研修を実施する。

障害者スポーツ普及への取り組み

質問 2020年東京五輪の開催決定を機に、障害者スポーツの普及を図るべきだ。スポーツ施設の改修を進めるとともに、障害者スポーツへの参加機会の拡充に取り組め。

答弁 関係所管で連携し、多様な機会を捉えて普及啓発に取り組む。



小泉 たま子 議員
(希望)



まちづくりセンターの機能強化

質問 地区の窓口機能を縮小してきたことは大きな誤りだ。災害時の対応も踏まえてまちづくりセンター職員を増員し、区民要望に十分応えられるよう機能を強化せよ。

答弁 地域や地区の課題解決に向け地域行政制度の充実に取り組む。本庁舎整備への職員意見の反映

質問 本庁舎整備に際し、区民の意見に加え、実際に庁舎で懸命に働いている職員の意見を聞くことも重要だ。職員から広く意見を募る場を設け、しっかりと反映せよ。

答弁 庁内公開サイトを活用するなど職員参加の仕組みを工夫する。

高齢者地方移住促進策への懸念

質問 国が高齢者の地方への移住促進策として掲げる「生涯活躍のまち」構想に反対だ。区は高齢者が安心して世田谷で暮らし続けられるよう、環境整備に全力を注げ。

答弁 安心して区に住み続けられるよう、しっかりと責務を果たす。

風間 ゆたか 議員
(民主社)



子育て支援は市民団体と進めよ

質問 世田谷の子育て支援は市民団体と区が密接に連携して進めるべきだ。子育て利用券のサービス提供事業者に市民団体を加えよ。

答弁 区内の活動団体に事業への参加を積極的に働きかける。

認可保育園入園選考基準の見直し

質問 保育待機児解消の為に施設整備増を最優先で取組むべきであり、需要大の認可保育園の入園選考はより実態に即した基準に見直すべきだ。学童保育利用の兄弟がいる家庭にもポイントを加算せよ。

答弁 区民の声も踏まえ、選考基準のあり方を慎重に検討していく。

民泊への適切な対応

質問 シェアリングエコノミーは新たなビジネスとして否定しないが、民泊は旅館業法違反や住環境

悪化など多くの問題をはらんでいる。区は早急に規制に取組め。

答弁 必要な取り組みなどについて早急に庁内外で検討を進めたい。

田中 みち子 議員
(生ネ)



若年性認知症者への支援強化

質問 若年性認知症者への支援が不足している。若年性認知症者は社会参加への意欲が高い場合が多いため、やりがいや生きがいを持つて過ごせる場の整備を進めよ。

答弁 若年性認知症者の生きがいづくりや居場所の確保を進める。

持続可能な見守り支援体制の整備

質問 住まいサポートセンターがNPOに委託している訪問見守りサービスの担い手の確保は重要だ。担い手の育成を制度化するなど、持続可能な見守り体制を整備せよ。

答弁 効果的で持続可能な見守り支援のあり方を検討していく。

NPO向けの相談支援窓口の拡充

質問 NPOが地域の見守りやコミュニティ形成に資する活動を一層展開できるよう支援を強化すべきだ。組織運営面などを支援する相談窓口を早急に拡充せよ。

答弁 新たに区内4カ所でのNPO相談窓口を開設する予定である。

ひうち 優子 議員
(世田谷)



新たな形の「滞在型図書館」

質問 区民が一日中快適に余暇を過ごせる滞在型図書館を目指すべきだ。民間のノウハウなども活用し、閲覧席やICT環境の充実、カフェの併設などに取り組め。

答弁 世田谷図書館において閲覧席やICT環境の充実を検討する。

所得運動返還型奨学金の見解

質問 国は年収に応じて返還月額を設定する所得運動返還型奨学金制度の導入を検討中だ。子どもが十分に教育を受けられる環境の整備に向け、区も対応すべきだ。

答弁 国や他自治体における奨学金制度の動向を注視していく。

駐輪場の平置きスペースの拡充

質問 チャイルドシート付電動自転車などの大型自転車は、駐輪場のラックに収納しにくい。高齢者や障害者への配慮の観点からも、平置きスペースを拡充せよ。

答弁 大型自転車の駐輪スペースの確保と拡充に努めていく。

すがや やすこ 議員
(SPJ)



世田谷版CCRCの構築

質問 誰もが健康なうちに入居し、共同生活を送りながら必要な介護などを受け、人生最後の時までを過ごせる環境を整備すべきだ。空き家活用の一環として取り組め。

答弁 さまざまな課題もあるが、有効な住まい方だと考える。

利便性の高いけやきネットの構築

質問 けやきネットの改修では、利便性の向上を最重視すべきだ。さまざまな条件を満たす施設を一括して検索でき、都の施設も合わせて予約可能なシステムをつくれ。

答弁 最新技術の研究なども行い、利便性の高いシステムに更新する。

子育て利用券に係る事業者の選定

質問 子育て利用券で利用可能なサービスの提供事業者の選定は、民間の仲介事業者が行う予定だ。選定の際に公平性と公正性が担保されるようしっかりと取り組め。

答弁 安全で安心して利用できる子育て支援の仕組みを構築する。

石川 ナオミ 議員
(自民)



クレジットカード納付の導入

質問 区は国保料などのクレジットカード納付導入の検討を進めている。さらなる利便性の向上と行政運営の効率化に向け、保育料や施設使用料への導入も検討せよ。

答弁 効果的な歳入確保策を創出し持続可能な財政運営に取り組む。

公園への防犯カメラの設置拡大

質問 安心で安全なまちづくりの推進に向け、公園への防犯カメラの設置を進めるべきだ。飲料メー

カーと連携し、自動販売機を利用した防犯カメラの設置に取り組め。

答弁 先行自治体の取り組み状況などを検証し、検討を進める。

特別支援教育の充実

質問 4月からの障害者差別解消法の施行も踏まえ、特別支援教育を充実すべきだ。特別支援教育推進計画では、特に医療的ケアが必要な子どもの支援体制強化を図れ。

答弁 医療的ケアに関する体制の検討に年次計画を立てて取り組む。

河村 みどり 議員
(公明)



弱視者の読書への支援

質問 弱視者が気軽に読書を楽しめるよう支援を強化すべきだ。障害者差別解消法の施行も見据え、日常生活用具給付事業における給付品目に大活字図書を追加せよ。

答弁 社会情勢の変化にも配慮し、品目の一つとして検討したい。

障害者スポーツの場の拡充

質問 2020年東京五輪開催を見据え、障害者スポーツを楽しめる場の拡充に取り組むべきだ。区施設の活用を進めるとともに、特別支援学校の体育施設の開放を都に求めよ。

答弁 都と連携し、特別支援学校の体育施設の活用に向け取り組む。

がん先進医療費の負担軽減策

質問 がん先進医療は高額な医療費が全額自己負担となるため、負担軽減に向けた支援が重要だ。医療に係るローンの利子相当額を区が負担する制度を早急に構築せよ。

答弁 先進医療に係る融資制度について、金融機関と協議している。

河野 俊弘 議員
(自民)



発達障害者への支援の充実

質問 児童福祉法に基づく放課後等デイサービスは18歳以降は利用できない。特に発達障害者の就労支援やその家族の負担軽減を図るため、居場所づくりに取り組め。

答弁 18歳以降も安心して通える場づくりなど、施策を充実する。

いじめ相談窓口の周知の工夫

質問 先の議会でのいじめ対策として子どもの人権擁護機関「せたホッ」との相談窓口をSNSの一種であるLINEを活用して周知することを求めた。検討状況を示せ。

答弁 導入した場合の効果などを確認しつつ、引き続き検討する。

SNSを活用した広報活動の充実

質問 今や年代を問わず利用されているSNSを活用した広報活動を充実すべきだ。ツイッターに加え、フェイスブックやLINEも新たな広報媒体として活用せよ。

答弁 効果や運用面について、他自治体の例も参考に調査検討する。

高岡 じゅん子 議員
(生ネ)



消費者の自立支援の強化

質問 区内でも特殊詐欺などにより多くの消費者被害が生じており、消費者教育の充実が急務だ。消費生活センターの機能を強化し、地域と連携を密にして取り組め。

答弁 若年層の被害防止に向けたPRに努め、機能強化に取り組む。

下北沢の魅力を高めるまちづくり

質問 下北沢駅周辺の道路整備をまちの魅力向上につなげるべきだ。下北沢の魅力を壊さないよう配慮しつつ、新たな公共空間の活用の可能性を地域と協働して検討せよ。

答弁 地域とともに、魅力あるまちづくりの実現に向けて取り組む。

区民目線を重視した本庁舎整備

質問 周辺環境との調和や区民目線を重視して本庁舎整備の検討を進めるべきだ。住宅街の中の立地に配慮し、環境と区民の利便性を最優先に区民参加で構想をつくれ。

答弁 区民の動線や環境への影響などの点から、幅広く検討したい。

加藤 たいき 議員
(自民)



区職員の配置方法の工夫

質問 区の施策を着実に推進するため、柔軟な職員配置に取り組むべきだ。業務の進捗状況に応じ、

年度途中であっても非常勤職員を配置転換するなど、工夫せよ。

答弁 非常勤職員の活用も含め、適切な職員定数の管理を進める。

学校改築時の避難場所の周知

質問 区立校は災害時に避難所となるが、学校が改築中の場合にはどこに避難すべきかわからないとの声を聞く。代替の避難所なども含め、周知にしっかりと取り組め。

答弁 地域住民へ丁寧な説明を行うなど、適切に対応していく。

空き家の適正管理への支援強化

質問 空家等対策推進条例の制定を見据え、空き家の適正管理に向けた相談体制を強化すべきだ。特に人気が高い司法書士による無料の区民相談の相談枠を拡充せよ。

答弁 28年度から相談枠を倍にする予定であり、準備を進めている。

三井 みほこ 議員
(自民)



緑保全と斜面地の安全対策の両立

質問 豊かな自然が残る国分寺崖線の斜面地の一部が土砂災害警戒区域に指定される予定だ。自然環境の保全に配慮しながら、斜面地の安全対策を着実に進めよ。

答弁 斜面地の安全性と緑の保全を両立させる施工法を検討する。

新たな介護予防事業の場の確保

質問 新しい介護予防・日常生活支援総合事業での住民参加による通所型サービスの提供の場を確保すべきだ。区立校などに加え、空き家や空き部屋の活用に取り組め。

答弁 空き家などの活用について、選択肢の一つとして検討していく。

世田谷版ネウボラを担う人材確保

質問 妊娠期からの切れ目ない支援を行う世田谷版ネウボラでは、保健師が相談支援体制の中核を担う。円滑な実施に向け、人材の確保と育成をしっかりと進めよ。

答弁 保健師の確保策を検討するとともに、人材育成を充実する。



会派の意見

28年度予算を審査するため、48名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月8日から3月24日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。

ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された28年度予算に対する各会派の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…和田ひでし議員
公明党世田谷区議団……佐藤 弘人議員
世田谷民進党・
社民党区議団……………羽田 圭二議員
日本共産党世田谷区議団…桜井 稔議員
無所属・
世田谷行革10番・ブラス…大庭 正明議員
せたがや希望の会…………佐藤 美樹議員
無所属・
減税せたがや無所属連合…あべ 力也議員
生活者ネットワーク
世田谷区議団……………田中みち子議員
レインボー世田谷…………上川 あや議員
せたがやすこやか
プロジェクト……………すがやすこ議員
世田谷無所属……………ひうち優子議員

区長は議会と真摯に向き合い 山積する区政課題の解決に臨め

―自由民主党世田谷区議団―

（一般会計に対する修正案と修正部分を除く
原案及びその他の会計に賛成する意見）

2020年東京五輪に向け、限られた準備期間の中でテロ対策を初めてした多くの課題を克服し、大会の成功はもとより、区内での米国選手団事前キャンプ、本大会がもたらす感動やまちのにぎわい、大会のレガシーを将来にいかにつなげられるかが我々に課された使命だ。今こそ職員が一丸となるべき時だが、区長には職員の先頭に立ち、多くの課題を決断によって克服し、必ずやなし遂げる強い覚悟があるのか、不安を抱くのは我々だけではないはずだ。区長が何を語ろうとも、これまでの言動や姿勢を見る限り不安は払拭できない。区政運営への区長の覚悟は、言葉ではなくみずから編成権を有する予算、その予算を執行する組織にあらわれるものだ。我々は指摘してきた。区長は補助54号線に関し、再三にわたり1期区間を全力で進める

と明言してきた。その中で、今議会で可決された組織改正の特徴は、都市整備領域の大幅な改編だ。しかし、組織改正の提案者である区長に1期区間を全力で進める体制についてたゞせば、答弁は副区長からさせるとし、みずから答弁さえもしない姿勢であった。

我々は区民の生命と財産を守るため、区議会第1会派としての自覚と責任のもと、区政を牽引してきた。改めて振り返ると、その時々、区民のために議論を交わし、ともに汗を流してきた職員の姿があった。90万都市となった区の成長を支えてきた原動力は職員の熱意や組織の力であるとの思いに変わりはなく。しかし、組織改正に区長が責任を負わず、明言した事業を進める体制すら指示していないのならば、全力で進めるという発言などパフォーマンスでしかない職員が一丸となるはずもない。組織と同様に、あらゆる施策を進める上で不可欠なものが予算だ。保坂区長の就任以降、明確なビジョンもなく思いつきで事業が展開される中、厳しい経済情勢をも乗り越え、健全財政を維持してきた職員の努力に敬意を表する。我々は区長の姿勢や言動に苦言を呈し、基本構想などの受け入れがたい案件には毅然と反対してきたが、予算に限っては区民生活を一時たりとも混乱させてはならないとの苦渋の決断で賛成してきた。また、予算の中には我々が職員と汗を流し、区民のために築いてきた多くの施策があり、職員の努力が込められているのも事実だ。こうした予算の重みを背負いながら、我々は熟慮の上で28年度一般会計予算に修正を加える決断に至った。今回の修正は、本庁舎整備に係る議論の根幹である整備手法にかかわるものだ。区長は我々を初め、複数の会派から出された全面改築すべきとの意見を無視できず、一度立ちどまり検討委員会を設けて幅広く議論し、議会の意見も踏ま

えて判断するとした。しかし、区長はいまだに一部保存にこだわっている。その本心があらわれている部分こそが今回の修正箇所だ。一部保存の場合に必要な調査費を28年度予算に計上した事実を見れば、議論もせず既に一部保存と決めており、議会が予算に反対できるわけがないとたかをくくっている姿勢すらかいま見える。区長の決まり文句の「議会との真摯な意見交換」や「議会で議論を踏まえ」とは何を意味しているのか。

また、区長の発言に関し、区長選の最中に見直すとは表明した補助54号線についても触れざるを得ない。多くの区民が整備を望む中、区長は2期3期区間を優先整備路線から外す方針を決めた。この判断で事業に協力してきた多くの区民や都などの信頼を失ったことは明白だ。今回の判断が自身の発言を守った結果であるならば、区長は1期区間を全力で進めるとの発言も確実に実行し、結果を出さなければならぬ。担当部署の人員増や批判をかわす意図が見える2期区間に係る調査経費の計上などで終わらせることなく、1期区間に全力を注ぎ、2期3期区間を一刻も早く事業化する使命を自身の言葉で課したと肝に銘じよ。

一般会計予算に対する修正案を提案した我々は、修正案が可決されれば、修正部分を除く原案に賛成することとなる。これは、区民生活に混乱を招いてはならないとの思いから、議会での議論を無視した明らかに理屈に合わない経費のみの修正にとどめた結果である。区長のこだわりで迷走が加速する本庁舎整備を初め、都市基盤整備の推進や保育待機児の解消、未来を担う子どもを育む教育の推進、2020年東京五輪に向けた戦略的な施策展開など、課題は山積している。我々は区民の生命と財産を守るため、誰もが安心して住み続けることができ幸せを感じられる世田谷の実現に向け、全力を注ぐ覚悟だ。

区長は区政課題を直視し 解決への方針を迅速に決断せよ

―公明党世田谷区議団―

（一般会計に対する修正案と修正部分を除く
原案及びその他の会計に賛成する意見）

我々は、区政が抱える課題に正面から向き合い、解決策を示して実行することへの責任を強く自覚し、取り組んでいく決意である。

まず、一般会計予算の修正部分を除く原案などへの意見を述べる。第1に、保育待機児対策についてである。区は依然として待機児解消への糸口すら見出せていない。認証保育所への支援強化や認定こども園の3歳児枠の拡充、小規模保育施設と連携園とのマッチングの強化に取り組み保育定員枠を拡充した上で、一部の保育園を3歳児からの受け入れにシフトするなど、待機児対策を早急に強化せよ。第2に、妊娠期からの切れ目のない支援についてである。世田谷版ネウボウでの妊娠期面接の実施場所は支所のみであり、全妊婦を対象とした実施体制とは言い難い。子育て世代包括支援センターの法定化を見据え相談体制を強化せよ。第3に、公有地の活用についてである。公有地や公共施設の活用において、創造性に富んだ取り組みが必要だ。新公会計制度導入を機に施設管理の見える化を進め、多様な手法を用いて新たな公共施設マネジメントを推進せよ。2020年東京五輪を見据え、スポーツ交流の国際拠点となるよう、仮称上野賀公園拡張用地と総合運動場、大蔵第2運動場を一体的に整備せよ。第4に、観光政策についてである。2020年東京五輪を地域活性化に着実につなげるには、柔軟な発想で迅速にシティセルスに取り組み組織体が必要だ。民間事業者と協働運営型の観光協会を産業振興公社から独立した形で設立せよ。

第5に、大介護時代に備えるべき地域包括ケアシステムについてである。地区でのシステムを機能させるには、地域住民などによる支援と専門機関による支援との連携が重要だ。区は地域人材の発掘やネットワーク化を率先して進めよ。認知症者を地域で支える体制づくりは主体的に取り組むべきだ。徘徊する認知症者の早期発見に向けたネットワークは区が中心軸となり責任を持って構築せよ。次に、一般会計予算に対する修正案への意見を述べる。

我々は、本庁舎整備は全面改築を前提に検討を進めるべきと述べてきた。一部改築で本庁舎整備を進めた場合、最短でも12年以上の期間を要すると見込まれる。首都直下型地震の発生が危惧される今、一部改築の可能性を探る時間的猶予はなく、一部改築に係る調査費への予算措置は到底認められない。区長は基本構想検討委員会での結論を経て整備方針を判断するとし、自身が責任を回避し、第三者に決断を委ねるような手順にも納得できない。速やかに全面改築の方針を決断した上で検討委員会に臨むべきだ。コストと工期を重視し、整備手法や資金の調達方法、備えるべき機能などの検討に時間を費やすべきであり、当初予算に修正を加えるのは、そのための環境を整えるためだと述べておく。

幅広い区民から多くの意見を募り 参加と協働による区政を推進せよ

―世田谷民進党・社民党区議団―

（一般会計に対する修正案には反対、修正部分を
除く原案及びその他の会計には賛成する意見）

28年度予算案で保坂区政が進めるとした社会的包摂とは社会が求める政策提起であり、決して区長の思いつきではない。核家族化や地域コミュニティの希薄化など



ウイニベグ市中学生親善訪問団の議会表敬訪問

が進む中、社会全体で包摂することは一層重要となっている。しかし、自治体が率先して取り組むこととなれば、行政の肥大化は避けられない。区は地域コミュニティの再構築とともに、区民参加による支援の仕組みなどを強化せよ。原発事故後に区独自の放射線測定が実施された際などには、これまで区政に関心のなかった区民の声が行政を動かす原動力となった。区民の区政への関心を高めるためには、区民参加のあり方の工夫が必要だ。より広く区民の意見を集約する仕組みを構築し、区のあらゆる施策にしっかりと反映せよ。

一般会計予算案に対し、本庁舎整備の一部改築を前提とした調査費用を削除する修正案が全面改築を迫る会派から提出されたが、修正案には反対だ。我々は全面改築に賛成しているわけではない。議会でもさまざまな意見があり、多額な税金を費やすことから幅広く意見を聞くことが重要だ。多数決のみでは決めることができない課題として向き合う必要がある。

日本国憲法の公布から70年を迎え、人権を尊重して権利を広げる動きは今後も拡大されると考える。選挙権年齢の18歳への引き下げも機に、議会としても多様な意見をくみ上げる仕組みを強化すべきだ。



予算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

世田谷区議会 議会中継で検索！

28年度予算に対する

暮らしと福祉を守る施策を進め
区民の切実な要望に応えよ

― 日本共産党世田谷区議団 ―

（一般会計に対する修正案と関係各課と後継高齢者会計には反対、一般会計の修正部分を除く原案及びその他の会計には賛成する意見）

貧困と格差を拡大し、年金削減や介護の切り捨てなどを進める安倍政権の悪政から、区民の暮らしと福祉を守り、切実な要望に応えることが区政に求められている。

保坂区長が大型開発優先の熊本地区から着実に転換を図り、住民税非課税世帯のがん検診などの無料化や補助54号線2期3区区間の優先整備路線の扱いの見直しなどに取り組んだことを評価する。

28年度予算は区民生活の切実な課題の解決に積極的に対応したものであり、1日も早い執行が求められている。

子育て支援では、待機児解消に向け、保育の質を確保しつつ施設整備を確実に進めよ。世田谷版ネウボラに取り組むことを評価する。介護基盤の整備では、地域密着型特養ホームや都市型軽費老人ホームなどの整備を着実に進めよ。子どもの貧困が社会問題となっている。給付型奨学金制度の対象を生活保護世帯などにも拡大せよ。今後の区政運営について、以下要望する。

低所得者世帯の大きな負担となっている国保料の軽減策を拡充せよ。保育待機児の解消に全力を挙げよ。都市計画道路の未整備路線を廃止も含めて見直せ。本庁舎整備では区民の理解が大前提だが、いまだ区民の理解は得られていない。区民の意見を十分踏まえ、整備計画を検討せよ。区長の元秘書を仮称日常生活支援センターの長とする人事は再検討せよ。



ずさんな制度設計の予算を見直し
区長は財政規律の遵守を徹底せよ

― 無所属・世田谷行革110番・プラスー ―

（一般会計の修正部分を除く原案には反対、修正案及びその他の会計には賛成する意見）

区長は28年度予算で社会的包摂を進めると言うが、これは『大きな政府』を進めることになりかねない。しかも財源確保も定まっていなかった。また区長は切れないといった表現を用いて施策を展開しているが、この表現は施策の優先順位を曖昧にしているだけだ。さらに、新設の給付型奨学金制度は、財源の一部を寄附に頼るずさんな制度であり、給付対象がふえれば財政負担が際限なく増大する。これら全てに制度設計の甘さが露呈しており、区長は一貫性や計画性のない区政運営を改めるべきだ。

今区が迅速にすべきことは、首都直下地震に備えるための災害道路整備や本庁舎整備だが、区長は議会との議論をいたずらに避け、追及されると非現実的な可能性の議論にすり替え、逃けている。あげくの果てには、議会の多数の意見を無視し区長独断で方針を決めるという区政運営となっている。厳しい経済状況が続く中、緻密でメリハリある施策展開が必要だ。修正部分を除く28年度一般会計予算は制度設計の甘さが随所に見られ、行政の肥大化と財政規律の崩壊を招くものであるため反対する。

自立を根底に据えて施策を進めよ

― せたがや希望の会 ―

（一般会計に対する修正案と修正部分を除く、原案及びその他の会計に賛成する意見）

個人の自立という考え方を根底に持たずに包摂だけを目的とした施策を展開することは、行政による抱え込みにつながりかねない。給付型奨学金事業は、子どもの自立につながる施策とともに進めよ。

世田谷版ネウボラは、妊娠期間接の方法や面接を受けた妊婦のみ対象の子育て利用券など制度設計が目的に見合っていない。見直せ。本庁舎の整備方針が未定の中、一部改築の決定後に必要な調査費の予算計上は不要のため一般会計に係る修正案に賛成した。本庁舎整備については、地域行政制度のあり方と併せて必要な機能を明確にし、効率的な手法を検討せよ。多様化する保育ニーズに応える一時預かりは重要だ。子ども・子育て総合センターに重症心身障害児施設を整備する際は、隣室で展開するほっとステイの閉鎖期間を最短にできるよう柔軟に対応せよ。

財政基盤を強化し福祉を充実せよ

― 無所属・減税せたがや無所属連合 ―

（一般会計に対する修正案には反対、修正部分を除く、原案及びその他の会計には賛成する意見）

財政基盤を強化し、区民福祉の向上に一層力を注げ。保育待機児解消への取り組みを加速させるとともに、入園選考方法を改善せよ。本庁舎整備に係る財政負担の抑制に努めよ。都立玉川高校跡地を活用し、100万都市にふさわしい規模と設備の区民会館を整備せよ。地域コミュニティの再構築を図れ。縁組協定を結ぶ川場村への特養ホーム整備を検討せよ。障害者差別解消法の理念の実現に向け、職員の意識改革を図れ。ふるさと納税制度を活用して寄附を募り、給付型奨学金制度の財源を確保せよ。

区民参画による区政運営を進めよ

― 生活者ネットワーク世田谷区議団 ―

（一般会計に対する修正案には反対、修正部分を除く、原案及びその他の会計には賛成する意見）

保育待機児解消に向けて尽力せよ。保育士の労働環境改善を図り、保育の質の確保につなげよ。障がいへの理解促進に向けた施策を充実せよ。区民参加と協働を進め地域での支え合いの仕組みを強化せよ。給付型奨学金制度創設を機に、社会全体で子どもを育てる意識を醸成せよ。世田谷版ネウボラが機能するよう保健師をしっかりと確保せよ。世田谷清掃工場のがス化溶融炉の廃炉を清掃一組に求めよ。地域防災計画に女性の視点を十分盛り込め。政策形成過程への区民参画を保障する条例を制定せよ。

きめ細かいサービスを展開せよ

― レインボー世田谷 ―

（一般会計に対する修正案には反対、修正部分を除く、原案及びその他の会計には賛成する意見）

提案を続けてきた給付型奨学金の創設を評価する。対象を他の貧困世帯にも拡大せよ。再三、求めてきた手話通訳者派遣制度の利用上限撤廃も評価する。パートナーシップ宣誓書の交付審査を厳格化し不正使用を防止せよ。崖の崩落防止対策が極めて手薄。改善を。

将来世代に負担を残さない区政を

― せたがやすこやかプロジェクト ―

（一般会計に対する修正案と修正部分を除く、原案及びその他の会計に賛成する意見）

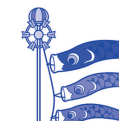
過去最大となった予算を税収増だからと使い切るのではなく、将来世代を担う子どもたちのために、基金の積み立て・歳出抑制に努めよ。その上で保育の質の確保と施設数の充実、また就学前教育と小中学校教育が安心して受けられるよう、環境整備に取り組め。

区民目線を重視し課題解決を図れ

― 世田谷無所属 ―

（一般会計に対する修正案と修正部分を除く、原案及びその他の会計に賛成する意見）

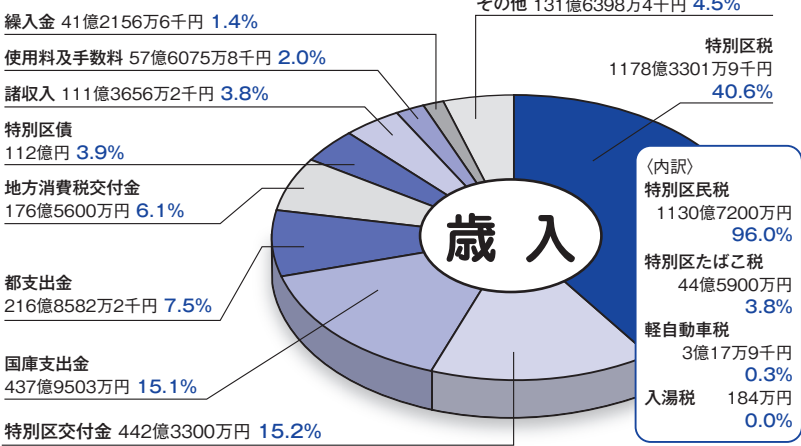
運転免許を持つていない人への道路標識教育を徹底せよ。交通安全対策連絡会等の機会を捉え、自転車専用レーンや自転車ナビライン上への駐車を防ぐ対策を警察に求めよ。図書館カウンターや滞在型図書館、電子図書館など、機能別に分けた図書館整備を進めよ。



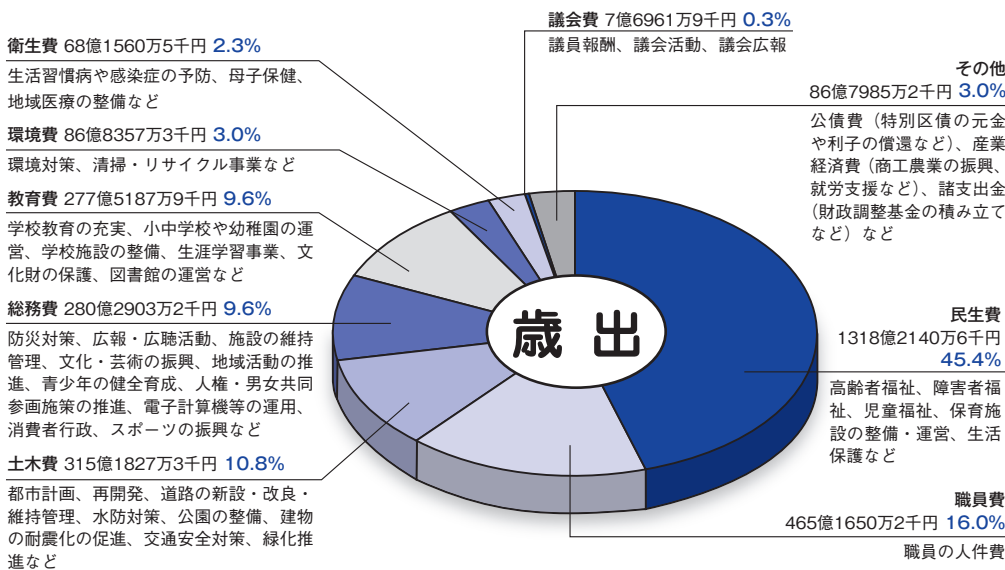
平成28年度各会計予算

内 容		対前年度比増減率(%)
一 般 会 計	2905億8574万1千円	7.4
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	960億8203万4千円 0.8
	後期高齢者医療会計	192億1367万6千円 0.6
	介護保険事業会計	598億6171万8千円 0.2
	中学校給食費会計	1億6869万6千円 7.2
計		4659億1186万5千円 4.7

一般会計予算の内訳（％＝構成比）



平成28年度 予算のあらまし



第2回定例会は6月に開催する予定です

（ページからの続き）

議会日誌

閉会中に開催された委員会

27年12月15日(火) 企画、区民、文教、分権
16日(水) 福祉、都市
17日(木) 議運
24日(木) 都市
28年1月5日(火) 区民
25日(月) 議運
2月8日(月) 企画、区民、文教
9日(火) 福祉、都市
10日(水) 分権、災害、環境、交通
16日(火) 議運

会期中の主な会議日程

2月24日(水) 本会議（代表質問）、福祉、議運
25日(木) 本会議（代表質問、一般質問）
26日(金) 本会議（一般質問、議案の付託、請願の付託など）、予算
29日(月) 企画、区民、文教
3月1日(火) 福祉、都市
2日(水) 分権、災害、環境、交通
4日(金) 本会議（議案の議決など）、議運
8日(火) 予算（総括質疑）
10日(木) 予算（企画総務委員会所管質疑）、企画
11日(金) 予算（区民生活委員会所管質疑）
15日(火) 予算（福祉保健委員会所管質疑）
16日(水) 予算（都市整備委員会所管質疑）、議運
22日(火) 予算（文教委員会所管質疑）
24日(木) 予算（補充質疑）
29日(火) 本会議（議案の議決など）、議運

委員会名称

企画＝企画総務常任委員会 区民＝区民生活常任委員会
福祉＝福祉保健常任委員会 都市＝都市整備常任委員会
文教＝文教常任委員会 議運＝議会運営委員会
分権＝地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会
災害＝災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
環境＝環境・空き家等対策特別委員会
交通＝公共交通機関対策等特別委員会
予算＝予算特別委員会

○道路占用料条例（全員賛成）
道路占用料を改定する。
○自転車条例（全員賛成）
生活保護基準見直しに伴う利用料金の減免に関する経過措置を廃止することなど。
○レンタサイクルポート条例（全員賛成）
生活保護基準見直しに伴う利用料金の減免に関する経過措置を廃止する。
○国民健康保険条例（賛成＝長、公明、民主、F行革、希望、賛多数、無減連、生、虹、S.P.J、世田谷、反対＝共産）
保険料率などを改定する。
○指定地域密着型サービス事業の人員基準等条例（全員賛成）
地域密着型通所介護事業に係る人員などの基準を定めることなど。
○指定地域密着型介護予防サービス事業の人員基準等条例（全員賛成）
指定介護予防認知症対応型通所介護事業者が設置する運営推進会議に係る事項を定めることなど。
○放課後児童健全育成事業の設備・運営基準条例（全員賛成）
学校教育法の改正に伴い必要な規定を整備する。

●条例の廃止 1件

○奨学資金条例

賛成＝長、公明、民主、F行革、希望、賛多数、無減連、生、虹、S.P.J、世田谷、反対＝共産

●奨学資金の貸付制度を廃止する。

○東大原小解体工事（全員賛成）

工事名	相手方・契約金額
解体	株式会社フジムラ 一億七千二百万円

工期＝28年8月19日

○烏山総合支所改修工事（全員賛成）

工事名	相手方・契約金額
電気設備	米沢・アイビー 建設共同企業体 二億四九四八万円
機械設備	大橋・温調 建設共同企業体 四億一五八〇万円

工期＝29年4月28日

●工事委託契約の変更 1件

○仮称世田谷地方合同庁舎新築工事（全員賛成）
工期を28年7月31日に変更する。

●協議 1件

○東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議（全員賛成）
保険料の軽減措置に要する経費を関係区市町村の一般会計から

負担することと定めることなど。

●教育委員会委員任命の同意 1件

（全員賛成）
濫渾、壽一（再任）

●議員提出議案 2件

○区議会委員会条例（全員賛成）
組織改正に伴い、常任委員会の所管を変更する。

○区政の停滞を招いている保坂展人区長に対し議会の存在を軽視する言動を改めることを求める決議

賛成＝長、公明、F行革、賛多数、反対＝民主、共産、希望、無減連、生、虹、S.P.J、世田谷

―決議の内容は左記のとおり―
●予算特別委員会の設置と委員の選任（全員賛成）
28年度予算を審査するため、予算特別委員会を設置し、48名の議員を委員として選任する。

決議

区政の停滞を招いている保坂展人区長に対し議会の存在を軽視する言動を改めることを求める決議
日本国憲法は、第93条第1項で「地方公共団体には、法律の定めるところにより、その議事機関として議会を設置する。」と定め、地方議会の設置根拠を保障している。

このような地位に立つ議会の使命は、第一に、地方公共団体の具体的政策を最終決定すること、第二に、執行機関の行財政運営や事務処理が全て適法・適正に、しかも公平・効率的かつ民主的になされているかを住民の立場に立ち、監視することである。

保坂展人区長は、世田谷区議会議員選挙・区長選挙直後の平成27年第一回臨時会の招集挨拶で、「区議会と区政は車の両輪と言われる。真摯な意見交換をもとにして、区民生活を支える政策実現のために、区議会議員の皆さんと虚心坦懐に議論を深め、よりよき世田谷区政をつくり上げていきたい。」と述べられていることから、区議会の使命を十分理解されているものと我々は認識していた。

しかしながら保坂展人区長においては、様々な意見を聞いてからの言葉を盾にして、区議会の意見・提案には耳を貸さず、本庁舎整備をはじめとする区政の重要課題に対する決断をことごとく避け続け、区政の停滞と迷走を招いている。さらに、区民を代表する我々議員の質問に対し、真摯な意見交換とは程遠い議論をはぐらかす議会答弁に終始しておきながら、他の催事では世論を誘導するかのような軽率な態度を露呈するなど、議会を軽視する行為、議会の存在意義をも否定しかねない言動が多々見受けられる。

よって、世田谷区議会は区政の停滞と迷走に終止符を打つための第一歩として、保坂展人区長に対し、区民の代表である我々議員によって構成されている議会の存在を軽視する言動を改めることを強く求めるものである。

以上、決議する。

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

審議が終わったもの

◆採択したもの 1件

○世田谷区の保育待機児童減少の為に保育施設整備を進めることを求める陳情（全員賛成）

◆趣旨採択したもの 1件

○外国人の人権が十分尊重されることを求める意見書等の提出に関する陳情（全員賛成）

◆取り下げを承認したもの 1件

○代田陶芸教室存続に関する陳情（全員賛成）

新しく出されたもの

◆福祉保健常任委員会に付託 1件

○軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

外国人の人権が十分尊重されることを求める要望書

世田谷区では、88万区民のうち約1万6000人の外国人の皆さんが住民登録をされています。（平成27年11月1日現在）また、訪日外国人旅行者数の2015年見込みは100万人台とされ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けては、200万人を目指しており、多くの外国人の方々が、東京あるいは世田谷を訪れることが期待されます。

このように国際化が進展する一方で、近年、国内では、一部の国や民族あるいは特定の国籍の外国人を排斥するような差別的言動（ヘイトスピーチ）が行われ、外国人の人権が侵害されることが憂慮されています。

わが国が、国民の自由と権利を保障するとともに、基本的人権が侵されることなく、一人ひとりが自分らしく生き、すべての人が尊重される社会を実現するためには、人種や民族、国籍等の違いによる

差別はあってはならないことです。

また、差別的言動（ヘイトスピーチ）の対象となった方々が、計り知れない恐怖心等を抱き、人間としての尊厳を踏みにじられているということを思うと大変遺憾な事態であると言わざるを得ません。

よって、世田谷区議会は、国会および政府に対し、基本的人権尊重の観点から、幅広い啓発活動を行うなど、ヘイトスピーチ対策について実効性のある対策を検討するよう要望いたします。

平成28年1月5日
衆・参議院議長、内閣総理・総務・法務大臣 あて

会派名の変更

「無所属・世田谷行革110番・維新」は、3月16日付で会派名を「無所属・世田谷行革110番・プラス」に変更しました。また、「世田谷民主党・社民党区議団」は、3月28日付で会派名を「世田谷民進党・社民党区議団」に変更しました。

正副委員長の互選結果

○予算特別委員会
委員長 山内 彰（自民）
副委員長 河村 みどり（公明）
副委員長 たかじょう訓子（共産）

○お問い合わせは、区議会事務局
調査係までお寄せください。
TEL (5432) 2779
FAX (5432) 3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録（本会議の分は5月中旬、予算特別委員会の分は6月上旬の発行予定）をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。

